

猪苗代町農産物等ブランド化推進事業
米のブランド化推進事業

ロゴマーク・キャラクター等 デザイン・設定資料



猪苗代町農産物等ブランド化推進委員会

「いなわしろ天のつぶ」ロゴマーク



※デザインについて

米関係の文字のデザインに多い太字をあえて使わず、細字によるシャープなデザインとし、「いなわしろ」を筆字で、「天のつぶ」を活字でデザインするとともに、海外でもそのままのデザインで展開できるように、アルファベット（ローマ字）によるデザインも取り入れている。

また、日本の米であることがわかるように、「日の丸」をデザインに取り入れ、その「日の丸」の中に、稲穂を透き込み日本の米であることを強調するとともに、美味しい米を作るために必要な清らかな水の流れを、錦絵や浮世絵に出てくるような「水の流れ」として、透き込んだ稲穂のバックグラウンドに表現している。

「いなわしろ天のつぶ」イメージキャラクター



※キャラクターの設定

◎稲姫 舞湖（いなひめ まいこ） 愛称：「いなな」

父なる山「秀峰・磐梯山」から流れ出る清水ですくすくと育った稲穂が、川の流れにのり、母なる湖「天鏡・猪苗代湖」に流れ着いた時、その稲穂に空から一筋の光が差し込み、それによって出来た波紋から現れた「稲の妖精」。

猪苗代町が大好きな明るく元気な女の子で、猪苗代の農産物などが大好きな食いしん坊！！歌ったり、踊ったりすることも大好きで、みんなとお友達になることを楽しみにしながら、猪苗代町に住みついている。

◎蛍 粒太郎（ほたる つぶたろう） 愛称：「つぶぶ」

後に「いなな」が現れるきっかけになった稲穂の流れていく、清らかな水の流れる川に住んでいた蛍が、その稲穂の美しさに魅せられて猪苗代湖まで追いかけて行き、「いなな」が現れた時の空からの光によって変身した「米ほたる」。

「いなな」と猪苗代町が大好きで、いつも「いなな」のそばに居たいと思っている。陽気でいつもニコニコしているが、かなりのおっちょこちょいで、いつも「いなな」に注意されている。

※デザインについて

○稲姫 舞湖（いなひめ まいこ） 愛称：「いなな」（稲の妖精）

日本文化の象徴である「着物（和服・振り袖）」、「可愛い（KAWAII）文化」、「漫画・アニメ」を取り入れたキャラクター。

足下のデザイン（ヒラヒラ）は「水の波紋」。「いなな」が現れた時の波紋のイメージをデザイン化。着物にも波紋のデザインが施されている。また、髪にさしている簪（かんざし）は、稲穂をイメージしており、豊かな実りを表している。

○蛭 粒太郎（ほたる つぶたろう） 愛称：「つぶぶ」（米ほたる）

美味しい米の代名詞でもある「清らかな水」。その「清らかな水」にしか生息しない「蛭」と、「米」を融合させたキャラクター。

可愛らしいキャラにすることを基本にデザインされている。手に持っているものは稲穂である。

※何故、これらのデザインになったのか？

現在の若者は、日本の伝統的な形（日の丸、筆字、着物（和服））に、強い好みが見られており、また、日本全体としても日本文化を見直す風潮が見られる。これらを考慮し、これからの国内での展開において、日本の首都であり国内最大の米の消費地、さらに、文化的中心地である東京を含む首都圏等において、受け入れてもらえるデザインとすること。

また、国によるTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）への参加や生産調整の終了など農業を取り巻く環境の激変により、海外を含む地域ブランドによる直接的な産地間競争の激化が想定されるため、今後の海外への展開も考慮し、ロゴマークへは「日の丸」を、キャラクターへは、新旧を問わず日本文化の象徴である、「着物（和服・振り袖）」、「可愛い（KAWAII）文化」、「漫画・アニメ」を取り入れ、世界的にも通用するデザインを目指した。

「いなわしろ天のつぶ」デザイン関係者プロフィール

◎デザイン統括プロデューサー

『三枝 邦之』

生年月日：1946 年 7 月 14 日

* 東京造形大学インダストリアル・デザイン科 1972 年卒業

1978 年 3 月まで、フリーランス・デザイナーとして活動

主な職歴：電通仙台支局の下請けとして POP 全般（1976 年）

株式会社アートセンター（廃業）のアート・ディレクター

剣持勇デザイン研究所の日航ジャンボジェット機室内インテリア・デザイン参加
環境デザイナー清水忠男氏のプロジェクトに参加し、週刊読売などに発表

西松建設の Gentle Life（未来志向への企画）参加

1978 年 4 月：現・株式会社 NHK アート入社（当時のデザイン部）以下 NHK 関係

NHK の番組広報や社内報、イベントのデザイン

歌謡ブロムナード、テレビファソラシド等多数のバラエティー番組イラスト

1988 年 報道番組デザイン アート・ディレクター

2003 年 一般番組 アート・ディレクター

1991 年以降、幹部社員としてチーフ・ディレクター、エグゼクティブ・ディレクター
（部長上級格）を歴任

1988 年以降、デザインルームでの後輩の指導・育成、現場指揮や組織計画・拡充、
番組美術の企画などが職種となる（直接の制作・作画は後輩が担当）

報道系：全国ニュースで現在放映しているタイトルの原型、気象情報、地震速報のデザイン指導、院内スケッチの指導、監督（法廷の様子をリアルタイムで描く最高難易度のため現在も継続中）

一般系：6 年前まで紅白歌合戦のタイトル、字幕のアート・ディレクション（第 53 回のタイトルは外部から反響）

テレビ体操（ラジオ体操）のタイトル・デザインなど番組全般に関わる

外 部：ベネッセコーポレーションのプラネタリウム用映像コンテンツ

2009 年 7 月末日で定年退職、以後非雇用として週 3 日 NHK に通い業務を継続している。

現在の肩書きはシニア・ディレクター

◎「キャラクター・ロゴマーク・はっぴ・のぼりデザイン」作成者

『柴田 理恵』

フリーランスのグラフィック・デザイナー、イラストレーター

* 2000 年東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程卒業

* 2002 年常駐した株式会社 NHK アート・グラフィックデザイン部を退職

* 主な作品：NHK 番組のデザインやイラスト、AbHeri, TOKYO FM 番組ホームページ等

◎「ロゴマーク等用「いなわしろ」書」揮毫者

『菊池 錦子』

書家（青森県弘前市生まれ）

* NHK 大河ドラマ「篤姫」・「江～姫たちの戦国～」などの映像のタイトルや

社名・商品名など多方面にわたって筆文字の素材を提供している

◎「はっぴ用「いなわしろ」書」揮毫者

『堀 正芳』

テレビタイトル書家、イラストレーター、グラフィック・デザイナー

* 約 50 年間勤務した 2012 年 3 月株式会社 NHK アート・グラフィックデザイン部を退職

* NHK の報道番組から娯楽番組、社内報のイラストや表彰状（会長用）の書など広範囲

* 2000 年、同社から社長特別表彰受賞

◎「キャラクター原案・基礎デザイン」作成者

『三枝 あや』

フリーのキャラクター・デザイナー

* 2004 年横浜美術短期大学洋画科卒、2006 年和光大学表現学部卒

* 高校時代に NHK 番組／人間講座「宮沢賢治グスコーブドリの伝記」のイラスト・アドバイス